

# 名古屋大学認証基盤サービス について

名古屋大学情報基盤センター

平 野 靖

# 名古屋大学認証基盤サービス

- 名古屋大学ID
  - 全職員・全学生に発行
  - 所属や入学年度等に無関係の番号体系
  - 1人に1つ(複数の身分を持っていても)
  - 卒業・離職しても削除や使い回しをしない→生涯有効
- 名古屋大学ID・氏名・所属などをLDAPサーバに格納
  - 学務部・人事労務課からデータを入手
  - 所属変更などは随時アップデート

## メリット

- 全学の情報サービスと接続
  - 認証サービス・属性情報(氏名・所属など)を提供
  - 認証情報・属性情報を一元化
  - 大学構成員が覚えるべきID/パスワードの削減
- 情報サービスと認証サービスを分離
  - 情報サービス側での認証機能の構築コスト・運用コストを削減

# 名古屋大学の規模

- 学部学生：9,800人
- 大学院学生：6,000人
- 研究生：1,000人
- 教員：1,800人
- 事務職員・技術職員：1,500人
- 非常勤職員：3,000人

合計：約23,000人

# 認証基盤サービスの利用実績

- 名古屋大学ポータル（情報連携統括本部）
- IPアドレス管理システム（情報連携統括本部）
- 名古屋大学無線ネットワーク（情報連携統括本部）
- 全学メールサービス（情報連携統括本部）
- 情報教育基盤システム（情報連携統括本部）
- WebCT（情報連携統括本部）
- EZProxyによる電子ジャーナルの学外アクセス（附属図書館）
- 外国人研究者等受入れデータベース（研究協力・国際部）
- 学術交流協定校DB（研究協力・国際部）
- 名古屋大学アカデミックコミュニティシステム（情報科学研究科）
- 安否確認システム（災害対策室）
- 海外留学データベース（研究協力・国際部）
- お助け君ノート（法科大学院）
- 学ぶ君システム（法科大学院）
- 日本語中級聴解Web（留学生センター）
- メールエイリアス実験サービス（情報連携統括本部）

(2009年11月現在)

# 学内SSO(Single Sign-On)サービス

- CAS(Central Authentication Service)をベースにSSOを実現
  - 米国Yale大学が開発, JA-SIGで管理
  - 標準的なWeb技術だけで実装可能
  - Java, PHP, PerlなどでCASクライアントを構築するためのライブラリ
  - 北米を中心に豊富な運用実績

## メリット

- 名古屋大学ではCASにAuthorization(認可, 権限付与)の機能を付加 → CAS<sup>2</sup>
  - ユーザの属性に応じて利用できるサービスを制御
- 名古屋大学認証基盤サービスのクライアントとして動作
- 複数の情報サービスを使う際にID/パスワードの再入力が不要
- ID/パスワード入力画面の統一

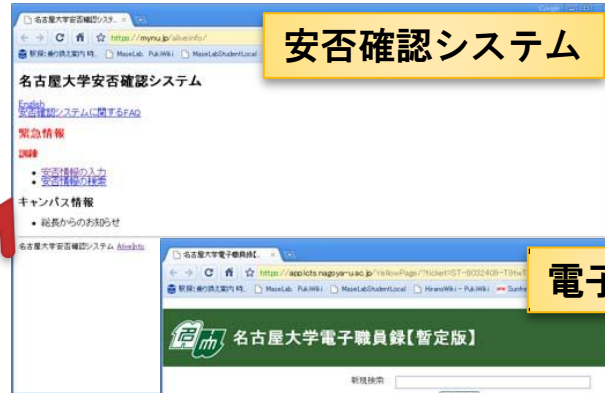
# 名大CASの接続実績

- 名古屋大学ポータル（情報連携統括本部）
  - 安否確認システム（災害対策室）
  - 教務システム（学務部）
  - 教員プロフィールデータベース（評価企画室）
  - メルマガ（情報連携統括本部）
  - ユーザの属性に応じたお知らせ（情報連携統括本部）
- 全学メールサービス（情報連携統括本部）
- メール転送サービス（情報連携統括本部）
- メールエイリアス実験サービス（情報連携統括本部）
- 電子職員録（情報連携統括本部）
- UPKIサーバ証明書プロジェクト（情報連携統括本部）

(2009年11月現在)

# 名大CASとSSO

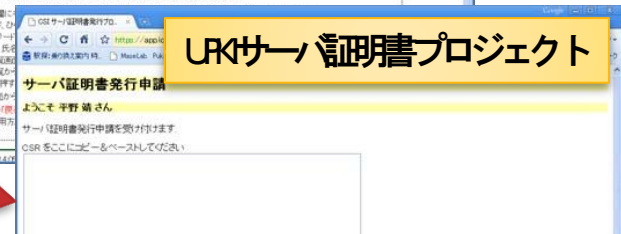
安否確認システム



電子職員録



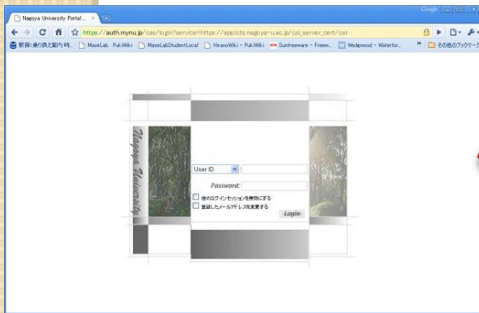
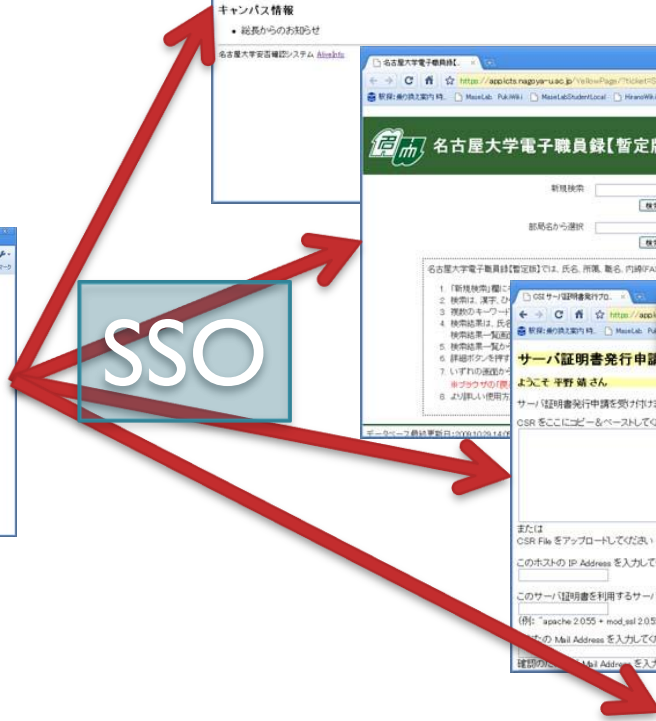
LRKサーバ証明書プロジェクト



名古屋大学ポータル

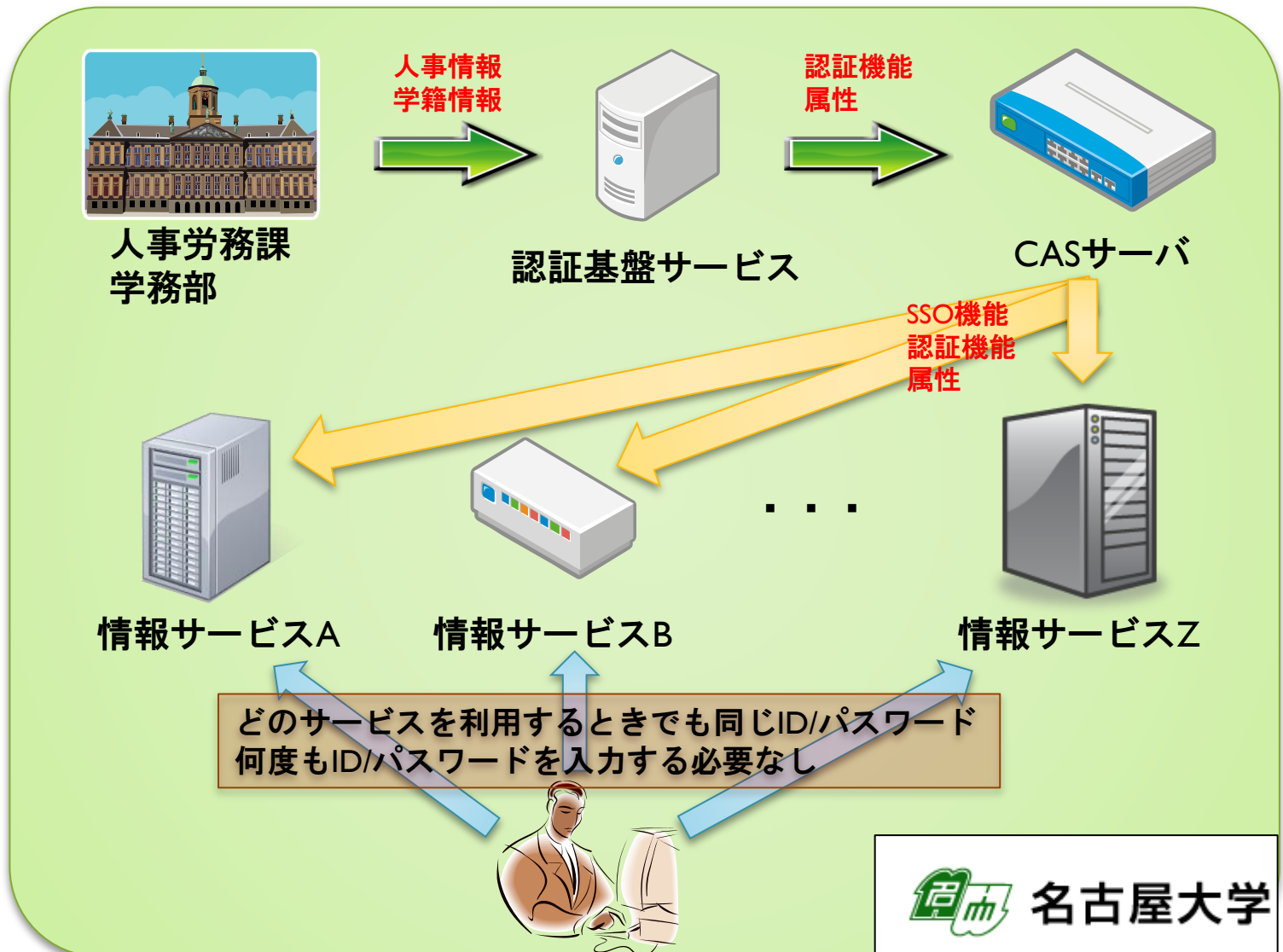


SSO



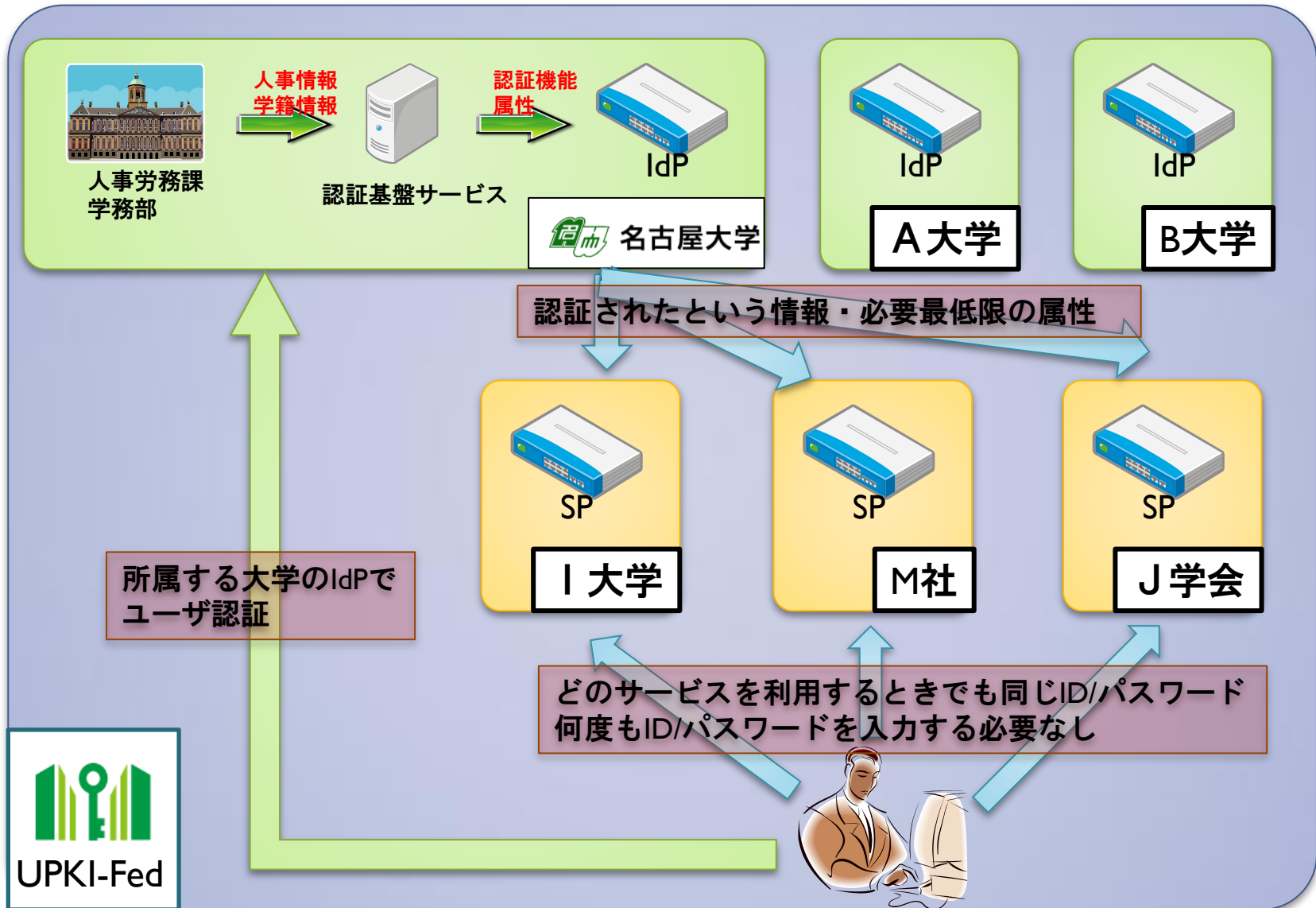
CASのログイン画面

# 認証基盤サービスと学内SSO





# 学術認証フェデレーション (UPKI-Fed)



# 名古屋大学におけるUPKI-Fed

- **テストと試行運用のためのIdPを構築**
  - CPU: Xeon 3.80GHz (4コア)
  - OS: CentOS 5.4
  - メモリ: 4GB
  - Xenで仮想化して1筐体に2つのIdP
- **名大IdPで試行運用するための要項の作成**
- **Cambridge Journals Onlineをはじめとした電子ジャーナルとの接続(作業中)**
  - 学外からSSOで電子ジャーナルが閲覧可能に
- **SPの構築(予定)**
  - UPKI-Fedに電子ジャーナル以外のSPが少ないのが問題